



第五卷 第七號

館址 和道筋町尾折市八幡
民書 資合會社
村公 印刷
城 荒冷
方 田
行 所 所
所 所
編 集 行 人
印 刷 所

受胎調節

講習會の反響



毎日新聞にこんな事が書いてあつた「日本でもつとも多いのは人であり最も少ないのは人である。貧乏の子沢山と云ふが日本の一番深刻な問題は何んとも云つても人口過剰である。ところが人口でなく人物と云ふことになるとこれまであまりに少い云々」

本村でもこのことが謂へるのではあるまいか。面積と資源の開発には限度があり乍ら、此処で生活する人は年々数的に増加の一途を辿つて居る。試みに昨年の実績を見るに出生六・九人・死亡二・八〇人・差引純増加は四四九人で総人口に対し二・八%の繁殖率である。

此の外増加の基礎となる婚姻が二三組、離婚が三組、差引一八組と云ふ盛況ぶりである。

一方是等の人口を完全に抱擁し完全

であることは村民各自が潜在的に意識して居る問題だつたと思はれる。講習の当日は相續つ強風雨の悪天候であつたにも拘らず、あれ程多数の聴衆が集つるとは全く予期しなかつた。中には夫婦揃つて熱心に受講する幾組かのほゞえましい風景さえ

見受けられた事である。要するに本講習会は村民の最も機微にふれた催であつたと思はれるが、其の成果は各人の教養と自覚に依ち最も多い人と最も少い人物との調和を計り、以て住み良い平和な郷土建設に邁進せられん事を希望して閉幕

2、根を日光に直接当てない
3、苗木は着いたら一日も早く植付ける等によつて乾燥を防ぎ活着をよくする。
植付本数は一町当三・〇〇―四・五〇本(五尺―六尺植)が適当で、植孔は直径一三三尺位の大きいものとして、特に瘦地は深く耕し、少し深植する。
五、手入
一年目だけは下刈の要がある。時期は五月下旬位、時期が遅れると津野村
一・五〇本()
一・七〇本()
六、考
郡内既植地と本数
赤池町、明治鋳業ボタ山
三・〇〇〇本(二七年春植)

一、性 状
豆科植物で葉はネムノキに似ているが小さい。豆科植物で、瘦地でもよく生長し、樹皮にはタンニン

③パルプ資材
木質部はパルプ原料となり、収量・品質ともに良く、漂白もよくといわれ原木一立方(約三・六石)で未晒パルプ約三〇〇斤(八〇圓)が出来る。

本年度会館行事の一端として五月及六月に実施いたしました事を報告いたします。
一、昭和二十六年産麦増産計画の一環として出品田二十四点に対し麦立毛品評会を五月二十八日普及事務所技師来村、農業委員立会のもとに盛大に挙行し、其の結果左記の成績を取めたのであります。

①タンニン資材
樹皮には約三〇%のタンニンを含有する。中等林地で伐期一〇年としても一町歩当り生皮約四十五(乾皮にして約二〇%)の収穫がある。乾皮を当政府払下価格五・九〇〇円を内輸に算入して二〇・〇〇〇円としても、四〇〇・〇〇〇円の粗収入がある。

三、適 地
寒さの酷しい処・風衝地や海地・強酸性の土地を除けば低地のところにはよく生育する。瘦地でもよく生育するが、特別の瘦地には植付のときに一本当過石一〇匁、加里五匁程度を施せば効果著しい。強酸性の土地には一本当石灰一〇匁程度を施せば肥料効果が低下せず有効。窒素肥料は特別の場合の外施す必要なく、施用すると伸び過ぎ、風に対する抵抗が弱まる

記
一等一席 吉門第一 村田善敬
小麦 農林六一号 一等二席 見六 若馬虎雄 裸 青裸 二等一席 迫 稲富信義 小麦 農林六一号 同二席 中泉 朝部虎一 裸 青裸 同三席 野添 木村清二郎 裸 赤神力 三等 野地 水野治敏 小麦 農林六一号 三等 上弁城 渡信吉 小麦 農林六一号 三等 新門下 鈴木菊松 裸 赤神力 三等 野添 木村大吉 裸 赤神力 三等 吉門 井上八郎 裸 赤神力 一、次に本年度苗代品評会につき

②新 炭 材
生長が早いわりに材質が堅く、木炭にしても品質普通で、シイ炭よりも良質である。中等林地での材積は僅か六年生林で一町歩当り約三六〇石で、一般雑木林平均収穫

現在、年間約六・〇〇\$の乾皮を輸入しており、今後年間約一〇・〇〇\$の増産が叫ばれてゐる。

其の結果成績は左記の通り
【一等一席】 吉門白髪 白石藤吉
【同席】 見六 芳野重雄
【一等一席】 上弁城 永末英貴
【同席】 迫 香月光義
【同二席】 上弁城 渡信吉
【三等】 吉門白髪 白石七太郎
【二等】 野添 木村七次郎
【二等】 後谷 鉄谷 宇田治
【二等】 小原 太田五万吉
【三等】 丸山 原田徳蔵
尚審査報告並に表彰授与式は七月の農事組合長会終了後、盛大に挙行する予定でありますので、一般希望者の列席を歓迎いたします。

農業會館農藝部行事

経済山本